

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 兼 CFO 枝廣 弘巳
(コード番号 8129 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 経営戦略本部長 河村 真
(電話 03-6838-2803)

産総研グループ、学校法人 慶應義塾、株式会社リプロセルとの
「再生医療等製品の最適な輸送および保管条件の確立」に向けた
4者共同研究契約書の締結について

東邦ホールディングス株式会社（本社：東京都、代表取締役 CEO 兼 CFO：枝廣 弘巳、以下「東邦ホールディングス」）は、産総研グループ（国立研究開発法人産業技術総合研究所、及び、株式会社 AIST Solutions）、学校法人 慶應義塾、株式会社リプロセルの4者による「再生医療等製品の最適な輸送および保管条件の確立」に向けた共同研究契約を締結しましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 共同研究契約書締結の背景

東邦ホールディングスは、医療・健康・介護分野に携わる企業集団として、「全ては健康を願う人々のために」のコーポレート・スローガンの下、医薬品卸売、調剤薬局、医薬品製造販売、顧客支援システムの開発・提供等の事業を展開しています。当社グループは「安心・安全な医薬品流通」を社会的使命とし、再生医療等製品や希少疾病用医薬品等、流通過程において特別な管理が求められる医薬品を安定的に供給するために、物流センターの高度化や、最先端の物流機能と幅広い温度領域に対応した定温搬送装置「サルム」とを組み合わせた、サルム・ソリューション・システムの展開等を進めています。また、2023年4月に産総研グループと連携研究ラボを設立し、ユニバーサルメディカルアクセス^{*1}の実現を目指して共同研究を実施しています。

産総研グループは、我が国最大級の公的研究機関として日本の産業や社会に役立つ技術の創出とその実用化、革新的な技術シーズを事業化につなげるための橋渡しや社会実装に注力するとともに、イノベーションを巡る環境の変化やそれらを踏まえて策定された国家戦略等に基づき、ナショナル・イノベーション・エコシステムの中核的、先駆的な立場で研究開発を行っています。

慶應義塾大学医学部は、進行子宮頸癌を対象とした腫瘍浸潤リンパ球療法（以下「TIL療法^{*2}」）を実施しています。この治療は慶應義塾特定認定再生医療等委員会により第3種再生医療として「適」と判定され、加えて、厚生労働省先進医療会議において先進医療として許可されたものです。

リプロセルは、2003年に京都大学・東京大学発のバイオベンチャー企業として設立され、TIL療法を再生医療等製品の重要な1つのパイプラインと位置づけ、慶應義塾大学医学部と共同で研究開発を進めています。また、2024年11月からは慶應義塾大学医学部と共にTIL療法の先進医療を再開しています^{*3}。

TIL療法をはじめとする細胞製品を用いた再生医療等製品は、その特性上、製造拠点から医療機関までの輸送および保管プロセスにおいて、厳格な温度管理と品質維持が求められ、本治療法の普及および将来的な商用化を見据えた安定供給体制の構築には、最適な輸送・保管条件を確立することが不可欠です。

このような背景から2024年11月より4者での情報交換を開始していましたが、この度研究を本格的に開始するために、共同研究契約を締結いたしました。本共同研究では、慶應義塾大学医学部より提供されるTIL検体等を用い、産総研グループが様々な環境下での細胞生存率等を検証し、リプロセルは、これまでの

TIL 療法等に関する細胞製剤の製造で培ってきた知見を提供します。当社は将来的な輸送手段の検証と現状の輸送環境に関する情報を提供し、最適な輸送・保管条件の確立を目指します。

当社グループは、本共同研究への参画を通じて、当社の社員自らが再生医療等製品の知見を深め、スペシャリティ製品の取り扱いにおける必要な機能の拡充・強化を図ることで、中期経営計画及びその実行計画に掲げるフルラインサービスの構築を積極的に推進し、医薬品流通において必要不可欠とされるポジショニングを確立してまいります。

2. 研究期間：

2024年11月29日～2026年3月31日

3. 研究における各機関の役割：

- 慶應義塾大学医学部： TIL 療法を実施した際の余剰検体の提供およびそれに係る付帯業務
- 株式会社リプロセル： 製剤製造における知見の提供
- 産 総 研 グ ル ー プ： 複数環境下における細胞生存率の変化等の検証
- 東邦ホールディングス： 将来的な製剤輸送に資する余剰検体の輸送手段の検証および現状の輸送環境に関する情報の提供

※1 ユニバーサルメディカルアクセス：

医療・介護者のスキルの多寡に関わらず、誰もが不安なく質の高い医療・介護を提供できる仕組み。また、住む場所に関わらず、災害・緊急時でも、必要十分な医療・介護にアクセスできる、究極の医療アクセシビリティを指します。

※2 TIL 療法

腫瘍浸潤リンパ球輸注療法 (TIL 療法) は、患者本人のがん組織に含まれる腫瘍浸潤リンパ球 (TIL) と呼ばれる免疫細胞を採取して体外で大量に培養し、患者に TIL を戻す養子免疫療法の一つです。

※3 慶應義塾大学における「進行子宮頸がんを対象とした腫瘍浸潤リンパ球輸注療法 (TIL 療法)」の再開に関するお知らせ

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4978/tdnet/2541390/00.pdf>

以上